

★「個が光る調和のまち・一戸」の創造を目指して

Public  
Relations

広報いちのへ

# Ichinohe

Apr.  
2019  
No.681

# 4

笑顔満開

ワクワク！

ズキズキキーン！



第6次一戸町総合計画  
未来のカタチ

一戸町長・教育長  
施政方針

一戸小学校入学式  
元気な笑顔で新たな学校生活





うづき  
卯月  
いちのへ再発見  
く春の訪れを告げるフクジュソウ  
運動公園付近（四月七日・午後四時十六分）

## Contents \_ 目次

02	いちのへ再発見
04	<b>一戸町長 施政方針</b>
06	<b>第6次一戸町総合計画 未来のカタチ</b>
08	<b>教育長 施政方針</b>
10	<b>平成31年度予算</b>
12	一戸町職員人事異動
14	まちの話題 乳製品を使ったメニュー2品開発 いちのへ防災セミナー
16	まちのお知らせと情報
17	保健だより
18	たより 御所野縄文博物館 / 運動公園
19	コミセン & 図書館通信
20	文化財巡り / 文芸 / 町長メッセージ / おたより / 広報クイズ
22	お知らせ
24	一戸小学校入学式 / 編集後記

### 今月の表紙

町内で行われた小中学校の入学式。真新しいピカピカのランドセルを背負い、期待に胸を膨らませる小学校の入学式（一戸小学校入学式、関連24ページ）。





# 施政方針

3月の町議会定例会で田中辰也町長が示した本年度の施政方針の一部をお知らせします。



一戸町長 田中辰也

## 町の3つの基本理念

- ① みんなが生き生きと繋がって賑わいをつくり出しているまち
- ② みんなが自然や文化がもつ魅力を引き出しているまち
- ③ みんなが安心でき、これからも暮らし続けたいと思うまち

### 地域に応じた活動を展開

御所野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録への各事業、農畜産業・医療・介護・福祉の充実、公共施設の修繕など、課題は山積しています。

解決に向け、町内の豊かな農地や林地など、大地や自然から得られる恵みを最大限に生かし、産業を形成し所得を得ていくための施策を展開していきます。

町内には御所野遺跡など多くの文化財があり、さらに環境の中で培われた竹細工などの工芸品があります。これらを生かし、保存・継承していくことにより、町の魅力を高めていきます。

さらに、風力・小水力やバイオマス発電など自然を生かした再生可能エネルギーの供給地として、周辺市町村と共に都市部との連携を行うことにより、人的交流を密にし、にぎわい創出と共に産業育成に寄与する諸施策を展開していきます。

次世代を担う子どもたちの健全な成長のために、妊娠か

## 産業の振興と仕事を創出するまちづくり

▶農地と用排水施設の整備を進め、生産性の向上と労力の軽減。▶一戸夢ファームでの新規就農者の確保。▶合理的な飼料生産供給を図る新たなTMRセンター整備やクラスター事業を活用した飼料生産機械導入支援。▶一戸らしい魅力的な道の駅の検討。▶世界遺産登録関連の事業展開と、グッズやお土産品の開発を支援。▶新たな工業団地用地確保に向けた工場適地調査。



## 生活しやすい環境が充実するまちづくり

▶閑屋地区子育て支援住宅の建設（秋ごろを予定）。▶空き家などの管理・活用に向けた「空き家等対策計画」を策定。▶「ごみの出し方分別辞典」の内容を見直し、新たに各戸配布。▶町営火葬場の移転について、候補地周辺の住民説明会を実施。▶本年度に、旧焼却場の煙突を解体。▶機能別消防団員を新たに消防団員に加え、地域防災力の向上につなげる。



## 人が集まり地域が活力にあふれるまちづくり

▶まちづくり懇談会を通じ地域と行政が共に考え、解決のため行動していく「地域活動プラン」の策定を促し、主体的な取り組みを支援。▶移住定住支援では農業分野以外の産業の取り組みを加速。移住パンフレット作成や首都圏・仙台市などで開催される各種イベントでのPR活動により移住希望者との接点をつくり、関係機関と連携し相談窓口などの受入体制構築。



## 元気で健やかに暮らせるまちづくり

▶「幼児教育・保育の無償化」の対象にならない幼児の第1子の保育料を児童手当の月額以下、第2子以降無償化継続。▶保育所・児童館・学童クラブにエアコンを設置。▶障がい福祉は、相談支援員を1人追加、障がい福祉サービス事業所間の連携強化。▶介護事業所の人材確保対策の実施。▶町育英会奨学金制度で返還義務を免除する職種に歯科衛生士を追加。



## 将来を担う人材を育むまちづくり

▶奥中山中学校体育館の耐震補強と修繕。▶町内全小中学校へのタブレット端末導入の検討。▶二戸学区唯一の総合学科校である一戸高校独自の活動や各種派遣研修などを支援。また、「一戸高校総合学科の魅力づくりに向けた企業・高校・行政連携会議」を通じて地元就職を望む生徒に対し、地域企業で実践的な学習の場を創出。▶通学費助成への対象拡大を検討。



## 歴史や文化を活かすまちづくり

▶世界遺産登録推進活動の継続と、ボランティアガイドなどの各団体・関係機関と協力した普及啓発の取り組み。▶御所野遺跡周辺の駐車場を含めた一帯の機能分担や観光客の円滑な誘導体制の再構築などを進める。▶「伝統的工芸品月間国民会議 全国大会 in 岩手」や県外の物産展などで鳥越の竹細工や木工品などの伝統工芸品の周知を図り、継承につなげる。



ら子育て期まで学校教育を含め切れ目ない支援体制の構築を行います。同時に、高齢者が生きがいを持ち、障がいを持つ人たちがも能力に応じ生き生きと、互いを尊重しあいながら安心して生活できる環境づくりに努めていきます。

本年度からは新たな総合計画に基づき諸施策を展開していきますが、計画の策定に意義があるわけではありません。目標達成に向け計画を実行し、検証を行い、必要があれば修正し、その上で次の取り組みを実行していくことが必要です。そのためには、総合計画を町民の皆さんと共有し、共に進めていくことが最も重要であると考えます。

総合計画を実りのあるものとするため、職員と共に地域に入り、地域事情に精通した町民の皆さんと協議し、地域に応じた活動を展開し実効性を高めていきたいと思えます。

このような施策を展開し、人々が集い、先人からの知恵を生かし、地域の魅力を高め多くの人を引き付ける活気あるまちにしていきたいです。





# 未来のカタチ

## 基本構想

### 基本理念

1. みんなが生き生きと繋がって賑わいをつくり出しているまち
2. みんなが自然や文化がもつ魅力を引き出しているまち
3. みんなが安心でき、これからも暮らし続けたいと思うまち

### 基本目標

#### 1. 将来を担う人材を育むまちづくり

学校の内外で協力しあう学習支援やキャリア教育の充実、スポーツ少年団や生涯学習などの活動を通じた豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成などに取り組み、将来を担う人材を育むまちづくりを進めます。

#### 2. 人が集まり地域が活力にあふれるまちづくり

移住・定住や地域資源を活用した交流の拡大、自治会などの行事や地域活動の活性化などに取り組み、人が集まり地域が活力にあふれるまちづくりを進めます。

#### 3. 産業の振興と仕事を創出するまちづくり

農林畜産業、商工業や観光業などの各分野で、後継者の育成、商品の磨き上げや販路拡大などに取り組み、産業の振興と仕事を創出するまちづくりを進めます。

#### 4. 歴史や文化を活かすまちづくり

御所野遺跡や旧朴館家住宅等の有形文化財や神楽などの無形文化財の保存、伝統工芸の継承などに取り組み、まちの魅力として歴史や文化を生かすまちづくりを進めます。

#### 5. 元気で健やかに暮らせるまちづくり

医療の確保、社会福祉や子育て支援の充実、地域での健康活動の向上、個々の健康管理の徹底などに取り組み、元気で健やかに暮らせるまちづくりを進めます。

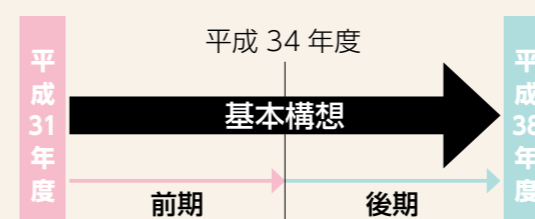
#### 6. 生活しやすい環境が充実するまちづくり

道路、情報通信基盤、上下水道などのハード面の整備、ごみ処理、交通、消防防災体制などのソフト面の整備に組み、生活しやすい環境が充実するまちづくりを進めます。

## 第6次一戸町総合計画始動。

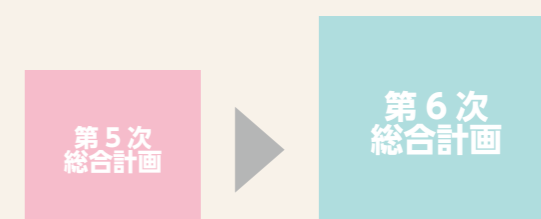
平成31年度から始まる新たな総合計画が策定されましたので、その概要を紹介します。

### 総合計画の構成



計画期間は平成31年度から平成38年度までの8か年とし、必要に応じて見直すため前期と後期それぞれ4か年に分けます。

### 第6次一戸町総合計画



平成30年度に一戸町第5次総合計画が終了し、平成31年度から新たに一戸町第6次総合計画がスタートしました。

### アンケートを実施

総合計画を策定するにあたり、無作為に抽出した町内の600人（10代100人、20代以上500人）を対象にアンケート調査を

実施しました。  
アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

### 総合計画はまちづくりの指針

これからの一戸町をどのように作っていくのか、その方向性を描いたまちづくりの指針となるものが「総合計画」です。大学教授や産業関係者、教育関係者などで構成された一戸町総合計画審議会によって、策定されました。

総合計画の「基本構想」としては、およそ30年後にどのようなまちを目指すのかを表した「基本理念」と、それを実現する取り組みの方向性を示した「基本目標」で構成されています。

皆さんは、自分の30年後を想像できますか。例えば、現在の子どもたちが成長し、町の中心的な役割を担っているかもしれない。または、次の世代が生まれているかもしれない。幅広い想定ができる年数として、30年と設定しています。

### みんなで未来を拓く

社会状況の変化や個人のライフスタイルの多様化、価値観の変化により、まちが抱える課題も複雑化しています。

少子高齢化、産業振興、福祉、防災対策など、地域のさまざまな問題を解決し、まちの魅力を高めていくことは行政だけではできません。地域住民や学生・企業・団体などと一緒に知恵を出し合いながら取り組むことが重要です。

第6次総合計画では、「みんなが生き生きと繋がって賑わいをつくり出しているまち」「みんなが自然や文化がもつ魅力を引き出しているまち」「みんなが安心して、これからも暮らし続けたいと思うまち」の3つの基本理念を柱として、多くの課題解決に積極的に取り組んでいきます。また、地域の力のさらなる活用方法を探り、新たな一戸町を町民の皆さんと共に作り上げていきます。



総合計画の詳細は町HPで公開していますので、ご覧ください。



## 地域文化の振興

▶「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を見据え、文化庁などと協議を続けながら国がユネスコへ提出する推薦書やイコモス現地審査に向けた準備を進めます。さらには登録実現に向けた機運をさらに加速し、広げていくために4道県全体や岩手県、周辺市町村、関係機関と連携を取りながら、保存管理体制や環境整備等の国内推薦決定後の対応を見据えた準備を進め、「御所野遺跡世界遺産登録推進協議会」など各団体と連携するなど、町民によるバックアップ体制を充実させます。▶今後も町民の読書要望に応えるため、蔵書の充実に努めるとともに、レファレンスサービスや、関心が高い企画展示や講座の開催、乳児期からの読書推進を目的としたブックスタートやブックスタートプラス事業など、多様な活動を展開するとともに、さらに利用者の利便性を向上させ、図書館の利用推進を図ります。

## 生涯学習の推進

▶近年の社会情勢の変化などを背景に、一人ひとりの価値観や学習ニーズも多様化していますが、これに応えることで、町民に学ぶ楽しさや交流することの喜びを体感してもらい、人と人とのつながりによって地域の活性化を図り、まちづくりに生かせるよう、「いちのへ町民セミナー」や「そよかぜ学級」などの各種事業により生涯学習の機会を提供していきます。▶子どもたちの育成には、学校・家庭・地域の連携が不可欠であることから、教育振興運動のさらなる取り組みと、教育の原点である家庭教育に大きな関わりを持つPTAと連携した家庭教育学級の実施などに、必要な支援をしていきます。▶子どもたちが安心して過ごせる場所である「放課後子ども教室」をさらに充実させるため、地域の方々の協力や学童クラブとの連携を図りながら、体験・交流活動も実施していきます。

## スポーツ振興

▶自分の健康は自分でつくるをモットーに、幼児から高齢者まで誰もがスポーツを体験できる機会の充実を図るため、既存施設を積極的に活用し、関係団体・地域との連携をとりながら、健康づくり教室や各種スポーツ大会などの実施および支援を行い、日常的に体を動かす習慣が定着するよう努めていきます。▶障がい者スポーツについては、障がい者と健常者が一緒に参加できるペタンク大会が開催されています。今後も障がい者スポーツの支援に取り組んでいきます。▶2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、ホスト

タウン登録を行い、他の国や地域のオリンピック選手などと事後交流を行うことにより、町全体のスポーツ振興を図ります。▶なぎなたについては、平成30年度も全国大会での優勝者をはじめ、多くの入賞者を出すとともに、一戸高校では、初めて全国大会の団体試合に出場するなど、これまでのなぎなた普及の取り組みの成果が着実に出てきています。平成31年度には、一般から中学生を対象とした東北・北海道ブロックの大会が当町で開催される予定です。普及活動の継続、指導者の養成、競技力の向上に努め、「なぎなたの町一戸」を目指します。

## 教育長施政方針

# 一戸の教育

3月の町議会定例会で中嶋敦教育長が示した本年度の施政方針の一部をお知らせします。



町の振興を推進していくためには、地域をけん引する人材の育成が重要であり、町発展の担い手である子どもたちが、自ら生き抜く力を身に付け、一戸の未来を切り拓くうえで、教育の果たす役割は極めて大きく、町民の教育に対する関心、期待はますます高まっています。

教育委員会においては、「一戸町教育大綱」や「第8次一戸町教育振興基本計画」に基づき、「知・徳・体」の調和のとれた人間形成という教育目的の実現を図るため、中期の展望に立ち、時代のニーズに的確に対応しながら、学校教育、生涯学習、地域文化、スポーツの振興に取り組んでいきます。

## 学校教育の充実

▶学校教育の役割は「いちのへの次代を担う『人づくり』」です。これからの多様な社会で生活するためには「5つの力（読む、聞く、書く、話す、考える）」を幼児教育から初等・中等・高等教育を通して育成する必要があります。「一戸の教育」の成果を土台とし幼保・小・中がさらに連携を深めながら、人との関わり合いの中での資質・能力の育成を一戸町の教育の柱としていきます。▶中学2、3年生の希望者を対象に実施している英語検定、漢字検定および数学検定の検定料の補助について、漢字検定に替えて日本語検定を採用し理解力の向上を図ります。▶「いちのへふるさとPR大使」の活動を中学校にも広げ、子どもたちの自尊感情の育成を行います。▶奥中山中学校の体育館の地震対策および老朽化対策を耐震補強工事と併せて、31年度の卒業式までに行います。▶みたけ支援学校の奥中山校と小中学校との交流に加え、特別

支援教育のさらなる充実を図り、その活動を奥中山地区から町全体へ広げていきます。▶ICT環境の整備については、30年度中に体育館や教室などの無線LAN環境を整えました。今後も次期学習指導要領の実施を見据え、タブレットや大型提示装置の導入などICT環境の段階的な整備を進めていきます。





## 歳出

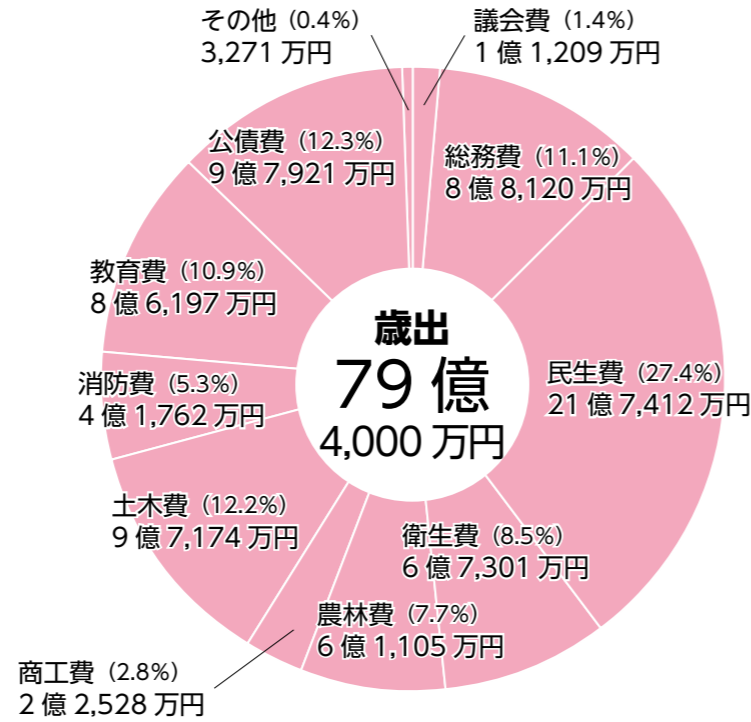
歳出の構成比は、民生費（障がい者福祉、高齢者福祉、児童福祉などに関するお金）が27.4%と最も多く、次いで公債費（借金の返済）が12.3%、土木費（道路・住宅などの整備、維持管理）が12.2%と続いています。

### 町民一人当たりの歳出予算

およそ **64万1,512円**です

民生費：約17万5,658円  
 公債費：約7万9,115円  
 総務費：約7万1,196円  
 土木費：約7万8,512円  
 教育費：約6万9,643円  
 ほか：約16万7,388円

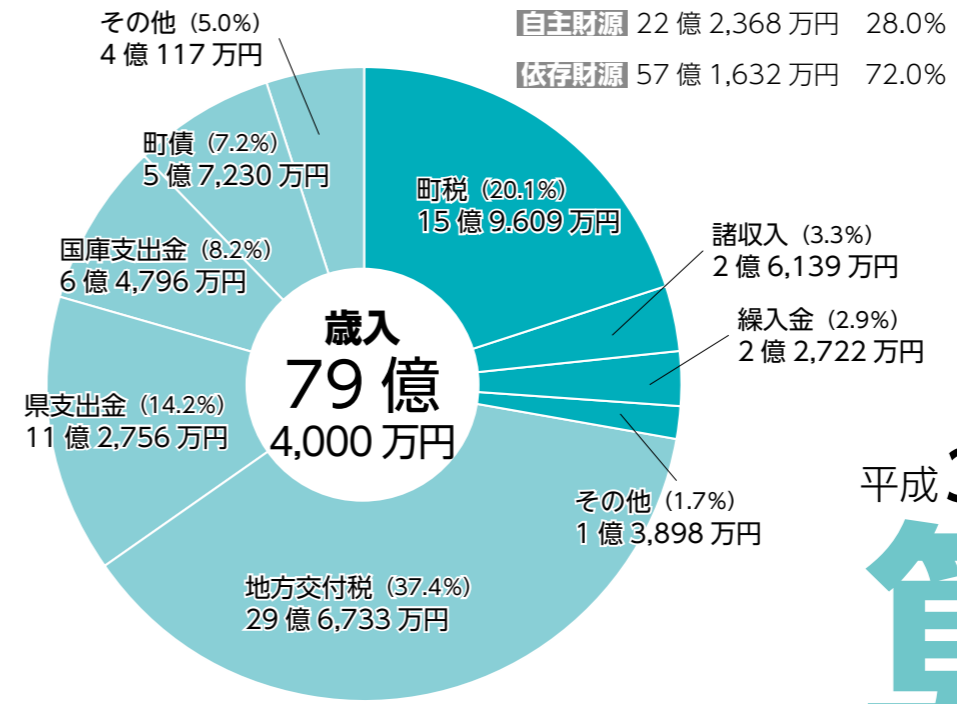
※平成31年3月31日現在の人口12,377人で算出



## 歳入

歳入を構成比順に見ると、地方交付税が37.4%で最も多く、次いで町税20.1%、県支出金14.2%、国庫支出金8.2%となっています。

歳入に占める自主財源比率は28.0%と、前年度から1.1ポイント減少しました。



# 平成31年度 予算予

ため、財政調整基金（町の貯金）をおよそ1億4713万円取り崩します。

歳入は、御所野遺跡の世界遺産登録に向けたPR事業の強化と、おもてなし体制の充実を重点項目に掲げています。

多様な広報媒体の活用や登録を祈念するイベントを開催することで、認知度向上と観光客の誘致を図るとともに、子どもたちが縄文文化に触れる機会を増やすため、小中高生の博物館入館料を無料とし、世界遺産登録へ向けて町全体の機運醸成を図ります。

財政の健全化の観点では、地方債（借金）の新規発行は、前年度より約1億1490万円抑制しています。また、国民健康保険事業勘定特別会計では、4月から税率改正を行うことで、赤字を解消し健全な財政運営を目指します。

一方で、町の財政運営は国からの地方交付税に大きく影響されることから、今後も国の財政動向に注視しつつ、慎重な運営を続けていきます。

**慎重な財政運営を**

31年度一般会計の当初予算は79億4000万円となり、前年度と比較して6.4%増加しています。

歳入は、町の自主財源の一つである町税が、県から交付される高森高原風力発電所の固定資産税相当額の増加を1億2915万円見込んでおり、15億9609万円となる見込みです。

依存財源の多くを占める地方交付税については、29億6733万円を見込んでいます。

また、歳入不足に対応する



田中町長と中嶋教育長の施政方針を具体的に実行するため、町では、次のとおり予算を編成しました。

### ◎ 31年度の主な事業 (新) は31年度の新規事業

事業名	金額	費目	事業名	金額	費目
ホームページリニューアル事業 (新)	648万円		アンテナショップ管理運営委託費	2,093万円	
御所野遺跡世界遺産登録推進PR事業 (新)	1,004万円	総務費	工業団地発掘調査事業 (新)	503万円	商工費
公衆無線LAN機器等更新事業 (新)	941万円		乳製品等地域産品普及・販路拡大事業	506万円	
介護職員等確保対策事業費補助金 (新)	555万円		町道整備事業	4,500万円	
障害者自立支援給付費	6億1,500万円	民生費	橋梁改修事業	9,800万円	土木費
保育所等エアコン設置事業 (新)	876万円		県営街路事業	4億4,284万円	
新卒者ふるさと就職支援事業補助金	360万円	労働費	奥中山中学校屋内運動場耐震補強等事業 (新)	7,910万円	
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業費補助金 (園芸等事業)	3,930万円	農林費	縄文遺跡群世界遺産登録推進シンポジウム事業 (新)	436万円	教育費
農山漁村地域整備交付金	1億1,078万円		一戸幼稚園エアコン設置事業 (新規)	175万円	

### ◎ 会計一覧

会計名	31年度予算額	30年度予算額	対前年度	
一般会計	79億4,000万円	74億5,900万円	4億8,100万円	6.4%
特別会計	国民健康保険事業	15億4,533万円	15億6,133万円	▲1,600万円 ▲1.0%
	土地取得	853万円	860万円	▲7万円 ▲0.8%
	農業集落排水事業	8,121万円	8,163万円	▲42万円 ▲0.5%
	下水道事業	2億8,808万円	2億9,725万円	▲917万円 ▲3.1%
	個別生活排水処理事業	5,060万円	5,043万円	17万円 0.3%
	後期高齢者医療	1億4,087万円	1億4,129万円	▲42万円 ▲0.3%
	水道事業会計 (支出)	7億3,010万円	5億8,890万円	1億4,120万円 24.0%
合計	107億8,472万円	101億8,843万円	5億9,629万円	5.9%

総務部

**総務課**  
 総務部長兼課長、選挙管理委員会事務局局長併任 仁島寺信一  
 総務部付課長(二戸広域派遣) 関下日出夫  
 課長補佐、選挙管理委員会事務局局長補佐併任 武田昭彦  
 副主幹 中村祥子  
 副主幹兼庶務係長、選挙管理委員会書記、議事事務局書記併任 久保亜希子  
 財政係長 中村誠  
 消防交通係長、選挙管理委員会書記併任 福田栄樹  
 総務課付係長(後期高齢派遣) 田村真之  
 主任 山火和枝  
 主任(大槌町派遣) 木戸法久  
 主任(岩手県派遣) 遠藤真吾  
 主事 三角恵美、田頭圭太、工藤直幸、松本成康、海外由佳  
 主事、選挙管理委員会書記併任 松田廉  
**まちづくり課**  
 課長兼御所野事業推進室長 栗橋泰彦  
 主査兼御所野事業推進室主査 來田忍  
 主任兼御所野事業推進室主任 菅原将  
 主事 平幸祐、猪股成介、猪久保俊介  
 主事補 古館航太(新採用)  
**御所野事業推進室**  
 室長補佐兼まちづくり課長補佐 山田晃  
**税務町民課**  
 課長 平野克己  
 課長補佐兼小鳥谷支所次長兼姉帯支所次長兼奥中山支所次長 地切一彦  
 副主幹兼徴収係長 大久保繁  
 副主幹兼住民係長 塚野小知枝  
 課税係長 田中由紀子  
 国保係長 田中明美  
 主査 柴田敏彦  
 主任 鈴木麻矢、田村香織  
 主事 松本奈緒子、柴田秀昭、荒屋敷舞、下村祐太  
 主事補 千葉愛夏、北館卓海  
**小鳥谷支所**  
 支所長兼姉帯支所長、小鳥谷地区公民館長併任 早坂周二(嘱託)  
**奥中山支所**  
 支所長、奥中山地区公民館長補佐併任 稲葉秀俊(再任用)

産業部

課長補佐(農業振興担当)、農業委員会事務局局長補佐兼農政係長併任 龜山正信  
 課長補佐(林務・畜産・農村整備担当) 兼農村整備係長 中村秀樹  
 農業振興係長 宮守努  
 林務係長 山火清明  
 畜産係長 篠畑恵司  
 主査 下谷悦夫(再任用)  
 主事 石倉徹  
 主事補 中田凪旺(新採用)  
**地域整備課**  
 建設部長兼課長 島山保夫  
 主幹 向井修二  
 課長補佐兼御所野事業推進室主査兼国土調査係長 清川誠幸  
 管理係長 石嶋義昭  
 土木技術係長兼農林課技師 樋口圭輔  
 都市計画街路係長 東澤信幸  
 建築住宅係長 清水栄二  
 主事 田村幸久  
 技師補 田村亨太  
**水環境課**  
 課長 田頭博文  
 課長補佐兼工務係長兼御所野事業推進室主査 山井英智  
 副主幹兼主任技師 湊尚美  
 総務係長兼業務係長 磯嶋邦彦  
 生活環境係長 野村源幸  
 下水道係長 藤井啓明  
 主任 田村肇  
 主事 大道一馬、馬林文弥、蛇沼孝乃信  
**会計課**  
 会計管理者兼課長 西館輝彦  
 課長補佐兼出納係長 片野優子  
 主事 東森早紀恵  
**議会**  
 事務局局長、監査委員事務局局長併任 下村慎悦  
 事務局長補佐兼議事係長、監査委員事務局書記併任 佐藤代和  
**農委**  
 農地係長 田中桂介

福祉部

**健康福祉課**  
 福祉部長兼課長兼健康相談室長兼総合保健福祉センター所長 片野修  
 主幹兼課長補佐(総務・福祉担当) 兼地域包括支援センター所長兼総合保健福祉センター次長 村中昭一  
 課長補佐(児童・保健担当) 兼まちづくり課主査 和多田克行  
 保健師長兼健康相談室長補佐 滝澤福子  
 副主幹兼主任栄養士 立花千栄子  
 副主幹兼主査 柴田俊也  
 主査 土屋邦雄、田中泰士、新毛淳子(再任用・保健師)  
 主任保健師 田中淳、樋口智佳  
 主事(二戸広域派遣) 赤平武毅  
 主事 柴田雄樹、畑山知恵  
 保健師 小寺滯奈、松浦千明、小野寺夏美  
**地域包括支援センター**  
 副主幹兼主任保健師 地切り子  
 主任社会福祉士 昆広都史  
**鳥海保育所**  
 所長 下村孝子  
 副主幹兼所長代理 猪久保久美子  
 主任保育士 西野久美子  
**小鳥谷保育所**  
 所長 松館聖子  
 副主幹兼所長代理 櫻井美紀子  
 副主幹 後藤育子  
**奥中山保育所**  
 所長 坂ノ上智佳子  
 副主幹兼所長代理 鈴木優子  
 副主幹 高田美穂  
**摺籠児童館**  
 館長 大和田留史子  
**商工観光課**  
 産業部長兼課長 野崎貞春  
 課長補佐兼御所野事業推進室主査 西館満弥  
 副主幹兼主査 一野辺資彦  
 主査 土川憲亮  
 主任 小寺学  
 主事 下村鷹也  
**農林課**  
 課長、農業委員会事務局局長併任 滝澤修身

教育委員会 選管

**選挙管理委員会**  
 選挙係長、総務課管理財係長併任 田村淳  
**学校教育課**  
 課長兼食育センター所長 上山正幸  
 課長補佐兼総務係長、まちづくり課主査併任 田中光弘  
 学校教育係長 澤久保貴弘  
 主事 山本由佳  
**食育センター**  
 次長兼係長 中島恭伸  
**一戸幼稚園**  
 園長 大道正樹(非常勤)  
 副主幹兼園長代理 田山久美子  
 主任 松田景子  
**生涯学習課**  
 課長兼中央・一戸地区公民館長兼体育館長 上里透  
 課長補佐(生涯学習・社会体育・文化担当) 兼文化係長 松尾暢  
 課長補佐(文化財担当) 兼文化財係長 中村明央  
 生涯学習係長兼中央・一戸地区公民館係長 荒屋敷雅章  
 社会体育係長兼体育館管理係長 常前昌浩  
 主任 西村美香  
 主事補兼学校教育課主事補 杉澤美佳(新採用)  
**鳥海地区公民館**  
 館長 坂本光男(非常勤)  
**小鳥谷地区公民館**  
 小鳥谷地区公民館主任、小鳥谷支所主任兼姉帯支所主任併任 東野政美(再任用)  
**奥中山地区公民館**  
 館長、奥中山支所副主幹併任 柴田忠幸  
**世界遺産登録推進室**  
 室長 田中猛  
 室長補佐兼御所野縄文公園館長補佐、御所野事業推進室主査併任 久保田太一  
 主任 菅野紀子  
**御所野縄文公園館長兼推進監** 高田和徳(嘱託)  
**退職**  
 稲葉秀俊(総務部長兼課長、選挙管理委員会事務局併任)  
 小野寺俊勝(学校教育課長兼食育センター所長)  
 東野政美(小鳥谷地区公民館副主幹、小鳥谷支所副主幹兼姉帯支所副主幹併任)

建設部

人事異動

# 一戸町職員新体制

4月1日からの各課の職員配置をお知らせします。

**新採用職員紹介**  
 生涯学習課 杉澤 美佳  
 ▶主な業務  
 放課後子ども教室、子ども会の育成、就学援助



まちづくり課 古館 航太  
 ▶主な業務  
 各種統計、イメージキャラクターの管理、国土利用計画



農林課 中田 凪旺  
 ▶主な業務  
 町営牧野、家畜伝染病予防、緑化推進





## い 大道タケさん満 100 歳 つまでも、お元気で

大正 8 年生まれの大道路タケさんは 3 月 20 日、めでたく満 100 歳を迎え、田中辰也町長らが花束や記念品を贈り、長寿を祝いました。タケさんは侍村出身、現在は特別養護老人ホーム慶寿園で過ごしています。以前は旦那さんと一緒に農業で生計を立てていました。息子の正志さんは「とにかく元気。畑に出るのが好きで、日中は家にいなかった」と振り返りました。



家族や施設の職員、友達に囲まれ、100 歳のお祝いを迎えたタケさん

## 安 日幸運輸、優秀安全事業所表彰 全運転に大きく貢献

日幸運輸有限公司（西館日幸取締役社長）が交通違反や事故が少ない事業所として、2018 年第 3 期の優秀安全運転事業所表彰で最高賞となるプラチナ賞に選ばれました。表彰式は 3 月 8 日に二戸警察署で行われ、西館取締役社長と運行管理者代表の来田勉さんが高橋明弘署長から表彰状を受け取りました。第 3 期の県内受賞事業所は 43 事業所、プラチナ賞は 8 事業所。



表彰状を手にする西館社長⑤と来田さん⑥

## 乳 製品をさらにおいしく

女性酪農家で構成される奥中山楽農女子会や乳製品製造者らで構成される乳製品研究会（中嶋瞳会長）は 2 月 28 日、乳製品を取り入れた新メニュー 2 品の試食会を町民文化センターで開きました。多彩なメニューが披露され、田中辰也町長など関係者 36 人がそれぞれの味を確かめました。

会場では、まるやかで素材の味が活かされた牛乳すきやきや、かわいらしい見た目手軽に食べられる「パングラタン」の新メニュー 2 品に加え、既存の簡単海鮮ピラフ、トマトシャーベット、ミルクプリン計 5 品がテーブルに並べられました。中嶋会長は「自宅で家族で楽しめるようにレシピを簡単にし、公開もしています。乳製品のさらなる販路拡大が目的」と期待を込めました。



①開発の中心となった奥中山楽農女子会のメンバー。  
②どのメニューにも乳製品がふんだんに盛り込まれていた。  
③各メニューを試食する関係者たち

## 乳製品を使ったメニュー 2 品を新開発

## 世 留学生が御所野遺跡で意見交換 世界の視点で、御所野を見る

外国人の観光客への対応を探る「多文化共生地域づくりワークショップ(県国際交流協会主催)」が 3 月 20 日、御所野縄文博物館で開かれました。岩手大と盛岡大の留学生 5 人が同館職員やガイドの案内で御所野遺跡や縄文文化などに理解を深めるとともに、改善点などを示しました。同博物館では、昨年に英語ガイド講座を実施するなどインバウンド対応への充実を図っています。



御所野遺跡を支える会会員の説明を熱心に聞く留学生たち

## つ 一戸町公営塾でものづくり体験 くる、彩る、楽しむ

ペイントとタイルでキーフック作り（一戸町公営塾主催）が 3 月 21 日、コミュニティセンターで行われました。児童 19 人が参加。各地でペイント DIY とワークショップを行う「sumururu」が講師を務めました。児童たちは木製のカッティングボードに色を塗り、カラフルなタイルをボンドで貼り付け、おしゃれなキーフックが出来上がるとうれしそうな表情を見せました。



友達と相談しながら、思い思いのキーフック作りに挑戦！

## 災 いちのへ防災セミナー 害発生、命を守れる行動を

いちのへ防災セミナーが 2 月 24 日、コミュニティセンターで開かれました。約 50 人が参加し、災害への備えの重要さや、近年の災害の特徴に理解を深めました。青森県消防学校の円山浩二副校長と NHK 盛岡放送局天気キャスターの大隅智子さんが講師を務め「情報を正しく把握し、命を守れる行動が大切。心配するより行動を起こしましょう」と呼び掛けました。



マップを使い、近年の自然災害の傾向を話す大隅さん

## 決 町交通指導隊、発足 50 周年 意新たに、さらなる歩み

町交通指導隊（松田豊隊長）が昭和 43 年 4 月の発足から 50 周年を迎え、2 月 9 日に町民文化センターで記念式典が行われました。関係者約 30 人が出席し、松田隊長は「多くの隊員たちがつないできた活動の成果。今後も町の安全・安心のために取り組みたい」とあいさつ。長年隊員として活動し退任した人や隊員らに田中辰也町長から感謝状が手渡されました。



町長から感謝状を受け取る隊員





## 総合保健福祉センター

### 特定健診・がん検診で 病気の早期発見を

日本人の死因の約6割は、生活習慣病です。生活習慣病とは、偏った食生活や睡眠不足、運動不足、喫煙、ストレスなどの積み重ねが原因となって発症する、がん（悪性新生物）、心疾患（狭心症や心筋梗塞など）、脳血管疾患（脳梗塞やくも膜下出血など）などのさまざまな病気

のことで、初期の生活習慣病は自覚症状がないことが多く、自分では気づきにくいと、いつの間にか病気が進んでしまう危険があります。生活習慣病の早期発見に重要なのが「特定健診」や「がん検診」などの定期的な受診です。一戸町では現在、春の特定健診を行っています。対象は35歳～39歳の町民、40歳～74歳の国民健康保険に加入している人、75歳以上の後期高齢者の方、40歳以上で生保の方です。詳しくは健康福祉課までお問い合わせください。

また、特定健診と同時にがん検診も受けることが出来ます。肺がん検診は40歳以上、肝炎ウイルス検診は40、45、50、55、60、65、70歳、大腸がん検診は35歳以上、前立腺がん検診は50歳以上の男性、骨粗しょう症予防検診は40、45、50、55、60、65、70歳の女性が対象です。特定健診も、がん検診も町民であれば誰でも無料で受けることができます。みなさん検診を受けて、自分の体調を確認し健康の維持を目指しましょう。

## 地域包括支援センター

### 住み慣れた地域で生き生きと 元気に過ごすために

住み慣れた地域で生き生きと元気に過ごすため、介護予防に



関するさまざまな取り組みが重要とされています。住民自身の積極的な参加と運営による「住民主体の通いの場づくり」を拡大し「地

域づくりと一体的な介護予防」の推進が求められています。地域包括支援センターでは、教室の講師派遣や紹介、包括職員による活動支援など、地域の実情に応じてさまざまな教室支援をしています。以下の活動例から自分達の地区でもやってみたい、などありましたら遠慮なくご相談ください。

### 昨年度の活動紹介

- ・運動公園講師による運動指導
- ・歯科衛生士による口腔教室
- ・栄養士による栄養教室
- ・一戸病院作業療法士による物忘れ

- ・予防教室
- ・警察署からの安心安全教室
- ・包括職員による健康講話（介護保険について、認知症について、高齢期の健康についてなど）。

### 家族介護者交流会

- 日時 5月14日(火) 10:00～12:00
- 場所 総合保健福祉センター
- 料金 100円

### 認知症カフェ

- 日時 5月18日(土) 13:00～15:00
- 場所 コミュニティセンター
- 料金 100円

### ○まちの健康相談室

(イコオショッピングセンター内 ☎33-4535)  
町の皆さんの健康相談などに応じます。  
※(日)・(月)・(金)を除き開設  
時間 10:00～17:00  
(曜日によって異なりますが、休止する場合があります。)

日時	内容
4月18日(木)	健康 10:00～17:00
24日(木)	傾聴 10:00～12:00 おはなし 13:00～15:00
27日(土)	認知症カフェ 11:00～15:00

### ★保育施設開放 (5月14日 10:00～11:00)

鳥海保育所 ☎32-2220 小鳥谷保育所 ☎34-2524  
奥中山保育所 ☎35-2319 摺糠児童館 ☎35-2316  
◎子育て支援ひろばのびのび ☎32-3770  
平日の(月)・(火)・(金) 9:30～14:30  
※役場隣の旧保健センター  
◎るんだ・るんだ ☎35-2314  
毎週(水)、隔週(土) 10:00～12:00  
※中山字大塚4-6 (奥中山学園内)

## 31年度農作業労賃標準額表を公開 ～お互いが理解し合い、明るい農業経営を～

園農業委員会 ☎33-2111 内線 271

本年度の農作業労賃標準額は下表のとおりです。「たのむ人」「たのまれる人」お互いが標準額を参考にし、明るい雇用が行われるようご協力をお願いします(この標準額は「まかないなし」の賃金で、平成32年3月31日までの農作業に適用)。

※下記の標準額は、各農業関係機関と協議し、一戸町農業委員会が決定したものです。

### ①人力の部

作業区分	単位	標準額(円)	割増額(円)
水田作業 <sup>*1</sup>	1日	6,100	953
畑作業	//	6,100	953
果樹	せんてい	//	8,200
	一般作業	//	6,100
オペレーター	//	8,700	1,359
防除作業 <sup>*2</sup>	1時間	1,100	—

※1 労働時間は休憩時間を除く1日8時間。8時間を超えたときは1時間ごとに割増給を支給する。

※2 安全防具は雇主が準備。

### ②機械の部(燃料オペレーター付き)

作業区分		単位	標準額(円)
マニユアスプレッター(3ト)		10a	4,000
トラクタ	水田耕起	//	4,600
	代かき(荒かきも同額)	//	5,000
	畑耕起	ロータリー	//
プラウ		//	4,700
田植え機		//	6,000
くろ塗り機(片側)		1畝	40
コンバイン	田	※結束ひも、自走距離の長いものは両者で協議	10a 15,000
	畑(麦)	//	9,000
バインダー	田(結束ひも付)	//	6,500
ハーベスタ		1時間	3,500
遊休農地管理(年2回耕起)		10a	9,500
牧草	刈取(モア)	//	2,100
	反転(ハイメーカー)	//	1,000
	集草(レーキ)	//	1,000
	梱包(ハイベラー)	1梱包	100
	ロールベラー	//	1,100(φ90) 1,500(φ120)
	ラッピングマシン(ラップフィルム付、2回巻き)	//	1,300(φ90) 1,700(φ120)
コーンプランター		10a	2,000
コーンハーベスタ		//	7,500

## 博物館の利用方法が一部変更になります 高校生以下の入館料無料、敷地内全面禁煙に

園御所野縄文博物館 ☎32-2652



4月1日から、博物館の利用方法が一部変更になっています。

■小・中・高校生の博物館入館料が無料に  
学習や自由研究などのシーンでさらに利用しやすくなりますので、ぜひ気軽にご来館ください。



### ■御所野縄文公園敷地内、全面禁煙

駐車場を含めた御所野縄文公園敷地内が全面禁煙になります。大切な文化財を守るため皆様のご理解・ご協力をお願いします。今後も、世界遺産登録に向けて快適で利用しやすい環境を整えていきます。



わわわのどおーも & ぶらぶららいぶらりい

〒028-5312 一戸字砂森 117-2 / ☎31-1400 FAX 31-1888  
 コミセン▷ http://ichi-culture.jp/komisen/ 図書館▷ http://ichinohe-lib.sakura.ne.jp

**注目1** 読書週間イベント「こども図書館まつり」  
 おはなし会や映画会、ワークショップなど盛りだくさん

こどもの読書週間にあわせて、「こども図書館まつり」を開催します。おはなし会や映画会のほか、ワークショップ「絵本カバーを使ってバックをつくろう♪」(4/24までに要申込)、スタンプラリー de ガチャポンなどを行います。また、特別展示ではロングセラーを中心に児童書を紹介します。図書館で楽しい時間を過ごしませんか♪

**日時** 4月27日(土) 9:00～16:00

**対象** 幼児から小学生まで

場 一戸町立図書館



**注目2** コミセン・ロビーへの出展者募集中!  
 個人や団体の活動を多くの人に披露しませんか

絵画、写真、書道など、ジャンルは問いません。普段の活動発表の場として、ぜひ、コミュニティセンターのロビーをご利用ください。

**■出展料**

町内の人・団体 4,500円

町外の人・団体 5,500円

※展示期間は出展者と相談し、決定となります。



**児童書**  
**ボク、もぐららびあ**  
 朝日小学生新聞 著 久慈地下水  
 族科学館もぐららびあ 監修 / さ  
 かなクン 協力 (朝日学生新聞社)



**一般書**  
**樹木希林 120の遺言**  
 樹木希林 著 (宝島社)

東日本大震災で建物も生き物も大きな被害を受けた、久慈市の水族館「もぐららびあ」。さかなクンや多くの人の応援を受けて、2016年に再オープンするまでの軌跡を紹介する。さかなクンのイラスト付きのお魚図鑑も収録。

樹木希林さんの生前のインタビューや対談から120の言葉を選びすぐった1冊。生きること、病気や家族についてなど8つのテーマごとに飾らない言葉がつけられている。家族写真やドラマのカットなども掲載。

**イベントカレンダー**  
 ▷ **4月**

- ロビー展示会 絵画教室作品展 (～21日)
- 13 土 11:00～ / 幼児・児童向け  
 としよかん映画会「げんきげんきノタン『スプーンたんたんたん / おひるね ごろごろ』(12分)
  - 14 日 9:00～ 絵画教室 / 一般向け
  - 15 月 **休館日**
  - 17 水 13:30～ 童謡・唱歌を楽しむ会
  - 19 金 とことこおはなし会 / 乳幼児向け  
 10:45～ (子育て支援ひろばのびのび)
  - 22 月 **休館日**
  - 24 水 13:00～ カラオケ倶楽部 / 300円
  - 27 土 9:00～16:00  
 こども図書館まつり
  - 28 日 9:00～ 絵画教室 / 一般向け
  - 30 火 **特別休館日 (～5/2まで)**

▷ **5月**

- 7 火 **休館日**
- 8 水 13:00～ カラオケ倶楽部 / 300円
- 11 土 11:00～ / 幼児・児童向け  
 としよかん映画会「ぼくは王さま『ぞうのたまごのたまごやき』(20分)
- 14:00～ リーヴルシネマ  
 『風雲児たち～蘭学革命篇～』(89分)
- 12 日 9:00～ 絵画教室 / 一般向け
- 13 月 **休館日**
- 15 水 13:30～ 童謡・唱歌を楽しむ会

**5月5日は「ごしよの」へGO!**

塗り直した鮮やかな看板をご覧ください

**ごしよの JOMON ピクニック**

GW (ゴールデンウィーク) は御所野縄文公園にピクニックに出掛けよう! 自然と触れ合える体験や火おこし体験、弓矢体験など盛りだくさんの縄文体験を用意しています。



**■日時** 5月5日 (日・祝) 10:00～15:00

**■場所** 御所野縄文公園

**バードウォッチング**

講師の先生からコツを教わりながら、春の縄文公園に集まる野鳥を観察します。

**■日時** 5月11日(土) 9:00～11:00

※9:00に博物館エントランス集合

**■場所** 御所野縄文公園

**■料金** 無料

**■持ち物** 双眼鏡

**■申込み** 不要 (当日直接)

**GWは、ウォーキングコースを散策して春を感じよう**

テニス用具や各種ボールも貸し出します

**運動公園のGW (ゴールデンウィーク) イベント**

GW期間 (4/27～5/6) はウォーキングコースでウォークラリーを開催します。全員もらえる参加賞や風船 (子どものみ) をプレゼントします。家族でクイズに答えながらウォーキングしよう!

また、町外からも2万数千本の花を求め訪れる“スイセンロード”は4月中旬が見頃です。まだ見たことのない人はウォーキングのついでに観賞してみたいかがでしょうか。

**■コース** ① 800円 ② 1.2千円 ③ 1.8千円

**運動公園で撮った写真を募集**

5月末まで運動公園クラブハウス内に掲示します。

**■申込み** 4月24日(水)までに電話

**運動したい人に用具を貸し出します**

GW 期間に運動公園敷地内のみでテニス用具や長縄跳び、各種ボールなどの用具を貸し出します。

**国道4号沿いの看板をお色直し**

国道4号に面している御所野遺跡のカラフルな看板。今回、外装を塗り直して鮮やかによみがえりました。さっそく来館したお客さんからも「大きい看板が見えたので見に来ました」との声をいただいています。皆さんも生まれ変わった看板をご覧ください。



**History**

**御所野縄文博物館だより**

場 御所野縄文博物館 ☎ 32-2652

○休館日

4/12(金)～15(月)、22(月)

5/7(火)、13(月)



**Sports**

**運動公園だより**

場 NPO スポーツウェルネス

☎ 33-4444 FAX 33-4445

開館 9:00～21:00





## 「西方寺毘沙門堂」

西方寺毘沙門堂は、平安時代の初め、807年（大同2年）に坂上田村麻呂が建立、本尊の毘沙門天は慈覚大師が作ったとの伝説をもつ古寺です。もともと西方寺は茂谷山の中腹にあり、34のお堂があり、そのうちの一つが毘沙門堂だったといわれています。

現在の毘沙門堂は、江戸時代の初め、1663年（寛文3年）に再建されたもので、そのときの棟札（建築の記録・記念として棟木など建物内部の高所に取り付けた札）も残されています。棟札を記した桂泉了純という人は、二戸市浄法寺町にある天台寺の関係者



と考えられます。堂内には多くの文化財がありますが、その中で最も古いものは毘沙門堂の裏山にある経塚（経典を土中に埋納した塚）から出土したものだといわれている12世紀末ごろの経壺です。そのほか、室町時代の作と考えられる毘沙門天立像、阿弥陀如来坐像、地藏菩薩立像など、1663年再建以前のもものもありません。また、堂内にはりめぐらされている絵馬は、江戸時代のもものだけで70枚以上を数え、県北地方では、最大の絵馬堂となっています。

毘沙門天立像の帯に描かれている獅子嚙（獅子の威嚇の形相を模倣化したもの）は天台寺の舞楽面に似たものがあり、西方寺毘沙門堂は、天台寺との宗教的な結び付きが強かったことを物語っています。

現存する建物としては県北地方では1658年（萬治元年）再建の天台寺観音堂に次ぐ古い建物で、しかも地方色豊かな建物として貴重だということ、平成3年3月に岩手県有形文化財に指定されています。



## 文芸 tanka・haiku

2月短歌・俳句会 一戸町文化協会短歌・俳句部会 場所・町民文化センター

### 短歌

戴きし雛人形は緋重ね  
一隅占めて春を待ちをり  
桜植樹願いをこめて六千本  
被災地の春またるるニュース  
自らを受け止む姿に胸打たる  
白血病という若きアスリート  
とどきたる朝の光りに雪の上  
言葉あるごと影おく冬木  
燃え上がる「サイトギ」火の粉夜空舞ふ  
炎の流れ豊凶いかに  
深さもつ寺山修司の心をば  
計り得ずして作品に酔ふ  
働けぬ身の悲しさに死を愚図る  
夫に喝入れ我も哀しむ  
芸能祭盆皿まはす乙女らの  
しなる体に紅の頬  
吹きつける吹雪の間陽の覗く  
がんばってゐる二月の太陽  
遠藤 道子  
山火あきら  
岩淵 良子  
初森 テル  
大矢 トモ  
東山 智子  
馬林 京子  
柴田サヨ子  
仁昌寺洋子

### 俳句

川岸の二羽の白鳥睦まやか  
私生活軒の水柱に見られいし  
ゴム風船突きに興ずる初笑ひ  
晩学の書かく友や冴え返る  
節分や一人二役これもよし  
如月やひと日ひと日の輝けり  
灯を落す窓にひっそり雪明り  
日脚伸ぶ心弾ませ友と会ふ  
明るき夜窓ガラスの細雪  
わかさぎ釣テント華やく菜魚湖かな  
着づくれて丸まり吾の母に似て  
岩淵 良子  
中館 木実  
高木 満里  
柴田サヨ子  
山火あきら  
仁昌寺洋子  
東山 智子  
馬場 洋子  
柴田のぞみ  
遠藤 道子  
佐々木悦子

## 今月のテーマ「町の皆さんと将来に向けた取り組みを進める年」

新元号が発表され、「平成」が4月末で終わり5月から「令和」に変わります。未来に向けた新たな時代の幕開けを感じさせます。一戸町も本年度より新しい総合計画の基で町政を運営することとなります。

総合計画では町の目指すべき姿を、「町民みんなが自然や文化の持つ魅力を引き出すことにより、生き生きと繋がりが賑わいをつくり出し、安心してこれからも住み続けたいと思うまち」としました。町の持つ多様な資源を最大限に活用し、豊かなコミュニティを形成することに、魅力的なまちとして多くの人を引き付け、にぎわいを創出すると共に、将来にわ



## 町長メッセージ message from the mayor

たつて住み続けようと思えるようなまちにしていくことです。実現に向けては、地域を熟知する町民の皆さんと一緒に取組まなければなりません。まちの将来目指す姿を求め、それに向けて地域ごとの取り組み方を決める活動プランを、地域の皆さんと共に作成していきま

す。地域づくりのみでなく、健康増進、産業振興、教育文化、防災など多岐にわたって、方向性を同じくして取り組みを進めて参ります。新しい時代の幕開けに際し、一戸町も新総合計画に基づき町民の皆さんと共に、将来に向けた取り組みを進める年としていきますので、皆さまの積極のご提言並びにご協力をお願いいたします。

新元号が発表され、「平成」が4月末で終わり5月から「令和」に変わります。未来に向けた新たな時代の幕開けを感じさせます。一戸町も本年度より新しい総合計画の基で町政を運営することとなります。

## 皆さんからのおたより Letter

**中** 山神楽の由来が少しばかりわかり若者に引き継がれて大切に守っていきたいと思います。心深く神楽を観させてもらいます。  
稲荷林 50代女性

**文** 化賞・スポーツ賞表彰式が行われたんですね。多方面で活躍している皆さんおめでとう！  
仁昌寺 30代女性

☆広報担当の私も、活躍を知らない方がたくさんいます。「こんなにつれい話題が山ほどあったのに」と後悔をしています。もっと町内に出て、さまざまな物事に触れる必要があるようです。取材に取材を重ねます。

**我** が子も今、東京にいるのですが、「やつぱりチ（いちのへ）は落ち着くなあと」しみじみしゃべっているの聞いて、うれしくなりました。  
傘木 40代女性

☆古里の良さは、離れてみてから感じる人が多いと思います。雄大な緑に囲まれた自然、ゆったりと流れる時間。何も無いと言われますが、帰ってきたらと思える理由はそこにあるのかもしれない。



## 先月号の答え 15人

先月号の当選者（応募13通）  
①釜石サツエさん②コーヒー大好き父ちゃんさん③畑山瑞穂さん

今月号のクイズ  
Q1 本年度の一般会計予算は？  
【100億4,000万円】（ヒント：P10～11）  
Q2 広報に関する意見感想、取り上げてほしい人・内容などありましたらお聞かせください。

応募方法  
ハガキ、またはメールに①クイズの答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥ペンネーム（あれば）を記入し、下記へご応募ください。

あて先  
〒028-5311  
一戸町高善寺字大川鉢 24-9  
広報クイズ係（4月30日締切）  
メール：kouhou@town.ichinohe.iwate.jp

## 人の動き 2月末(前月比)

人口 12,511人 (-16)  
男性 6,006人 (-14)  
女性 6,505人 (-2)  
世帯数 5,724世帯 (+8)  
転入 23人 転出 21人  
出生 1人 死亡 19人

火災・救急 (2月分)  
火災 0件 救急 5件

交通事故 (2月分)  
発件数 24件  
人身事故 0件(死者0人)  
物損事故 24件

ごみの量 (2月分)  
排出量 199ト  
(町民1人1日 524g)



**お知らせ** **新幹線走行試験  
ご協力のお願い**

JR 東日本では、新幹線の走行安全性などの基礎データを集めるために走行試験を実施しますので、ご協力をお願いします。

- 区間** 仙台～新青森間
  - 期間** 5月18日～10月15日  
23:00～5:00まで  
※日程を変更する場合があります。
- 東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支所企画室 ☎019-625-4019

**お知らせ** **連休中の町民文化センター・体育館などの利用**



GW（ゴールデンウィーク）中の町民文化センター・体育館・土道館の開館時間にご注意ください。

- 開館時間**
- ・4月27日(土) 9:00～21:00
- ・4月28日(日)～5月5日(日) 9:00～17:00
- ・5月6日(月) 施設点検のため休館

生涯学習課 内線 512、514

**お知らせ** **GW（ゴールデンウィーク）のごみ収集日程  
早朝収集は6:30までに**

GW 中のごみ収集は下記の通りです。二戸地区クリーンセンター（☎25-5660）が稼働している時間帯は、家庭ごみ（可燃・不燃・資源・粗大）の持ち込みが可能です。（粗大ごみが100円/10\*、それ以外は30円/10\*）。ご協力をお願いします。

水環境課 内線 225

月日	収集	クリーンセンター
4月27日(土)	通常収集(小型粗大ごみの収集地区のみ)	休み
4月28日(日)	休み	休み
4月29日(月)	早朝収集(可燃・不燃・資源)。一戸地区は生ごみも回収。	8:45～14:00
4月30日(火)	早朝収集(可燃・不燃・資源)。	8:45～14:00
5月1日(水)	休み	8:45～12:00
5月2日(木)	生ごみ収集 ※可燃・資源・不燃は集めません。	休み
5月3日(金)	休み	8:45～12:00
5月4日(土)	休み	休み
5月5日(日)	休み	休み
5月6日(月)	早朝収集(可燃・不燃・資源)。一戸地区は生ごみも回収。	8:45～14:00

※早朝収集は6:30までに出してください。

**お知らせ** **いわて花巻空港のH31 上記ダイヤが改正  
県民対象のお得なキャンペーンも実施中**

いわて花巻空港の定期便ダイヤが改正されました。花巻空港からの国内線からは札幌、名古屋、大阪、福岡、国際線は台北、上海へ運行されています。国際定期便を利用する県民の皆さん対象のお得なキャンペーンも行っていますので、旅行やビジネスなどにぜひ、活用ください。

県空港利用促進協議会 ☎019-624-6330

**+** **一戸町と近隣市町村の休日当番医** ■休日当番歯科医 — 診察時間 9:00～12:00 ■休日急患当番医 — 診察時間 9:00～17:00

月日	当番歯科医(管内)	電話	休日当番医(管内)	電話	休日当番医(岩手町)	電話
4/14	国香歯科医院(裏小路)	23-2223	おりそ内科循環器クリニック	22-2251	塚谷医院	62-1155
21	渡辺歯科医院	23-2052	小野寺クリニック	46-2822	北上脳神経外科クリニック	63-3636
28	沢藤歯科医院	25-4002	千葉耳鼻咽喉科医院	26-8133	さわやかクリニック	62-2043
29	菅原歯科クリニック	23-1180	菅整形外科皮膚科クリニック	23-7311	佐藤整形外科クリニック	68-7240
30	小野寺歯科医院(☎33-3050)、国香歯科医院(裏小路)(☎23-2223)、ぽっぽ歯科クリニック(☎31-1182)				沼宮内地域診療センター	62-2511
5/1	小野寺歯科医院(☎33-3050)、堀米歯科医院(☎46-2927)、国香歯科医院(裏小路)(☎23-2223)、ぽっぽ歯科クリニック(☎31-1182)		川村医院	23-3252	佐渡医院	62-3211
5/2	岩淵歯科医院(☎32-2238)、堀米歯科医院(☎46-2927)、ぽっぽ歯科クリニック(☎31-1182)				さわやかクリニック	62-2043
5/3	こしみず歯科クリニック	33-4618	いちのへ内科クリニック	33-2701	岩手沼宮内クリニック	61-2025
4	窪島歯科医院	23-2425	齋藤産婦人科医院	23-2505	沼宮内地域診療センター	62-2511
5	菅原歯科医院	27-3301	カシオペア医院	23-3331	佐々木医院	62-2234
6	ぽっぽ歯科クリニック	31-1182	ふくもりたこどもクリニック	43-3137	佐渡医院	62-3211
12	国香歯科医院(石切所)	23-2764	二戸クリニック	25-5770	塚谷医院	62-1155

※当番医は変更になることがあります。事前に電話で確認してください。

**お知らせ** **「いくべ号」は連休中、  
運休します**



デマンド交通「いくべ号」はGW（ゴールデンウィーク）期間中、運休します。

- 期間** 4月27日(土)～5月6日(月)  
※期間中、岩手県北バスは休日ダイヤで運行します。  
※根反線・平糠線の路線バス代替運行は4月27日(土)のみ運行します。

町民文化センター ☎33-3000

**お知らせ** **二戸病院の神経内科の  
名称が変更になります**

二戸病院では、4月1日から神経内科の名称が脳神経内科となります。

- 変更内容**  
変更前→神経内科  
変更後→脳神経内科

町民文化センター ☎23-2191

**開催** **消費税の  
軽減税率制度説明会**

町と二戸税務署では、事業者を対象とした消費税の軽減税率制度に関する説明会を開催します。

- 日時** 5月15日(水) 10:00～11:00
  - 場所** 町民文化センター2階 大会議室
- 二戸税務署調査部門 ☎23-2701 内線 33

**町民割引券について**

奥中山高原温泉と来田保養センターでは、まちの皆さんが利用しやすいよう、割引券を発行します。点線で切り取り、フロントなどに提出すれば右記の料金になりますので、ぜひご利用ください。

■朝朱の湯大浴場



**開催** **学校公開  
「学校へ行こう」**

一戸町教育委員会では開かれた学校づくりを目指して学校公開「学校へ行こう」を実施し、町内全校を保護者や地域の皆さんに公開します。

気軽に子どもたちの授業の様子をご参観ください。ほかの地域の学校であっても見ることができます。

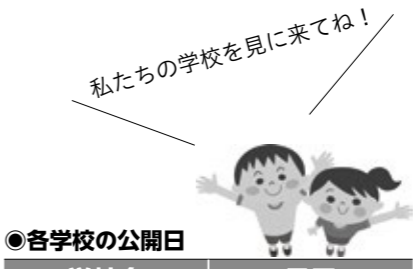
参観時は子どもたちの安全確保などのため、下記にご協力ください。

- 参観マナー**  
授業など、教育活動の支障とならないようご協力をお願いします。  
授業を行っていない教室などへの出入りはご遠慮ください。

■**安全のために**  
不審者を見たときは、すぐに教職員にご連絡ください。

- その他**  
授業以外にも、昼食、部活動などの活動をご参観できます。上履きを持参し、ご来校ください。

町民文化センター 内線 503



●各学校の公開日

学校名	月日
一戸小学校	4月13日(土)
一戸南小学校	4月20日(土)
鳥海小学校	4月20日(土)
小鳥谷小学校	4月20日(土)
奥中山小学校	4月26日(金)
一戸中学校	4月27日(土)
奥中山中学校	4月27日(土)

information **お知らせ**

皆さんの暮らしに役立つさまざまな情報をお届けします。

一戸町役場 ☎0195-33-2111  
〒028-5311

一戸町高善寺字大川鉢 24-9

**お知らせ** **町税などの口座振替で  
ゆうちょ銀行を追加**



4月から町税などの口座振替の金融機関にゆうちょ銀行が追加されます。

ゆうちょ銀行口座での口座振替を希望する場合は、同銀行での申込みが必要になります。手続きの方法など詳しくは税務町民課にご連絡ください。

町民文化センター 内線 121、122

**お知らせ** **風力発電事業の環境影響  
評価報告書の縦覧**

岩手県企業局が一戸町高森高原に建設した「高森高原風力発電所」について、環境保全措置や事後調査の結果をまとめた「報告書」の縦覧を行います。

- 期間** 4月17日(水)～5月24日(金) 8:30～17:00  
※土日・祝日を除く。

■**場所** 役場2階 まちづくり課  
町民文化センター ☎019-629-6398

☪ **奥中山高原・来田温泉 町民割引券**  
(広報4月号—H31.5.31まで有効)

この券で、下記の温泉の日帰り入浴(入浴のみ)を割引金額でご利用できます。  
※本券1枚につき1人有効。

- 煌星の湯・朝朱の湯**  
おとな 100円引き  
こども 50円引き
- 来田保養センター**  
休館日 第1週、第3週火曜日
- 70歳以上 320→270円
- 70歳未満 430→380円
- 小学生 200→150円

☪ **奥中山高原・来田温泉 町民割引券**  
(広報4月号—H31.5.31まで有効)

この券で、下記の温泉の日帰り入浴(入浴のみ)を割引金額でご利用できます。  
※本券1枚につき1人有効。

- 煌星の湯・朝朱の湯**  
おとな 100円引き  
こども 50円引き
- 来田保養センター**  
休館日 第1週、第3週火曜日
- 70歳以上 320→270円
- 70歳未満 430→380円
- 小学生 200→150円



# START!



自分の名前が呼ばれ、元気な声で「はい！」



たくさんの友達に囲まれ、にっこり笑顔



お母さんがいなくても、先生や友達がいるから大丈夫だよ



ロッカーには、ぴかぴかのランドセルが並ぶ



式終了後は、友達と楽しく談笑



担任の先生の話に、はじける笑顔を見せる児童

## 一戸小学校入学式

### 元気な笑顔で 新たな学校生活

4月は町内各地の小中学校で入学式が行われました。一戸小学校（紀修校長、児童195人）では、4月5日に挙行され、37人の児童が期待に胸を膨らませ、

新しい学校生活をスタートしました。式では、保護者や来賓などに温かく迎え入れられた新入生が緊張した面持ちで入場。背筋をピンと伸ばし、真剣な表情で式に臨みました。担任の先生から名前を呼ばれると大きな声で返事をしていました。式典終了後の教室には、緊張がほぐれた子どもたちの元気な声と期待に満ちあふれた笑顔が広がっていました。



## 編集後記

4月から広報担当を離れることになりました。広報担当となり3年。始めにも分からずカメラを渡され、取材に送り出される日々。本当に辛くて逃げ出したいところでしたが、「写真いいね」「広報楽しみにしています」と皆さんの掛けてくれた多くのうれしい言葉、カメラ越しに見る生き生きとした皆さんの表情が私の支えになっていました。取材にご協力いただいた町民のみなさん、さまざまな耳寄りな情報を教えてくれた役場職員との思い出が今でも鮮明に浮かびます。今でも本当にありがとうございます。▼担当は変わりましたが、引き続き、まちづくり課に在籍します。広報とは違った新たな立場で一戸町の発展に貢献できるように頑張りますので、今後よろしくお願いいたします。まちづくり課 猪久保 俊介

●広報いちのへ4月号の印刷経費は1部62.2円（税込）です



広報いちのへは、環境に配慮し、植物油インキとFSC森林認証紙を使用しています。

